



突然の降雹や突風等被害への対応について (野菜)

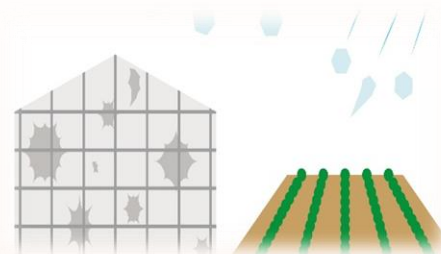
例年 5～6 月には大気が不安定となり、積乱雲の発達などで突発的に降雹や暴風雨害などが発生することがあります。

この影響で、農作物に被害が発生した場合は、適切な対応が必要となり、軽度の場合でも、生育への影響、病害の発生などが懸念されることがあります。下記を参考に適切な対策に努めてください。

なお、県農業総合センターホームページ (https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nosose/cont/img/shigatsu_r50407.pdf) に、気象災害の技術対策が掲載されていますので、こちらも参考にしてください。

1 施設野菜

ビニールの破損等でハウス中の作物に被害が生じて、栽培継続が可能と思われる場合は、破損部を修復し、必要に応じて病害の発生を抑制する薬剤散布を行います。さらに、液肥の葉面散布剤により、生育の回復に努めてください。



2 露地野菜

被害を受けた作物は病害が発生しやすいため、収穫前日数および総使用回数に十分注意し、状況に応じて殺菌剤などの予防散布に努めてください。また、土壌の乾き具合や作物の草勢を観察しながら、液肥の葉面散布を行い生育の回復に努めます。中耕は浅く行い、根傷みの回復に努めます。

(令和 7 年 4 月 14 日現在)

作物名	病害名	薬剤名	希釈倍数	使用時期/回数	分類
キャベツ	黒腐病・軟腐病	カセット水和剤	1,000 倍	7 日前まで/3 回以内	24 と 31
		バリダシン液剤 5	800 倍	7 日前まで/5 回以内	U18
	菌核病	トップジンM水和剤	1,000～1,500 倍	3 日前まで/2 回以内	1
		ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000～3,000 倍	3 日前まで/3 回以内	11
ハクサイ	黒斑細菌病・軟腐病	バリダシン液剤 5	500 倍	3 日前まで/3 回以内	U18
		スターナ水和剤	1,000 倍	7 日前まで/3 回以内	31
	菌核病	トップジンM水和剤	1,500～2,000 倍	7 日前まで/2 回以内	1
ネギ	軟腐病	スターナ水和剤	2,000 倍	7 日前まで/3 回以内	31
		カスミンボルドー	1,000 倍	14 日前まで/2 回以内	24 と M01
		バリダシン液剤 5	500 倍	前日まで/2 回以内	U18
		ランマンフロアブル	2,000 倍	3 日前まで/4 回以内	21
	べと病	アリエッティ水和剤	800 倍	3 日前まで/3 回以内	P07
		アミスター20 フロアブル	2,000 倍	3 日前まで/4 回以内	11
		ランマンフロアブル	2,000 倍	3 日前まで/4 回以内	11
レタス	腐敗病・軟腐病	バリダシン液剤 5	800 倍	前日まで/3 回以内	U18
	腐敗病	ジーファイン水和剤	1,000 倍	前日まで/—	NC と M01
	菌核病・灰色かび病	アフェットフロアブル	2,000 倍	前日まで/3 回以内	7
非結球レタス	腐敗病・軟腐病	バリダシン液剤 5	800 倍	3 日前まで/3 回以内	U18
	腐敗病	ジーファイン水和剤	1,000 倍	前日まで/—	NC と M01
	菌核病・灰色かび病	アフェットフロアブル	2,000 倍	前日まで/3 回以内	7
バレイショ	疫病	プロポーズ顆粒水和剤	750～1,000 倍	7 日前まで/5 回以内	40 と M05
		ゾーベック エンカンティア SE	2,000 倍	14 日前まで/3 回以内	49 と 11
	軟腐病	Zボルドー	500～1,000 倍	—/—	M01
加工トマト	疫病・斑点細菌病・葉かび病	カスミンボルドー	1,000 倍	前日まで/5 回以内	24 と M01
	疫病	ランマンフロアブル	1,000～2,000 倍	前日まで/4 回以内	21
ニラ	さび病・白斑葉枯病	ストロビーフロアブル	3,000 倍	前日まで/3 回以内	11
		アフェットフロアブル	2,000 倍	前日まで/2 回以内	7
	株腐細菌病	Zボルドー	500 倍	—/—	M01
野菜類※	軟腐病など	Zボルドー	500 倍	—/—	M01

※ナス、ダイコン、ラッキョウ、未成熟ソラマメ、サヤインゲンなど

◎生育回復の対策(葉面散布剤の使用方法)

＜葉菜類や根菜類＞

メリット青 300～500 倍＋グリーンセーフプラス 1,000 倍を、3 日おきに 2 回程度の葉面散布を行います。

＜果菜類＞

メリット青またはメリット黄 300 倍＋グリーンセーフプラス 1,000 倍を、3 日おきに 2 回程度の葉面散布を行います。青・黄は生育に応じて使い分けてください。



- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。